

山本地区

歴史の1コマ



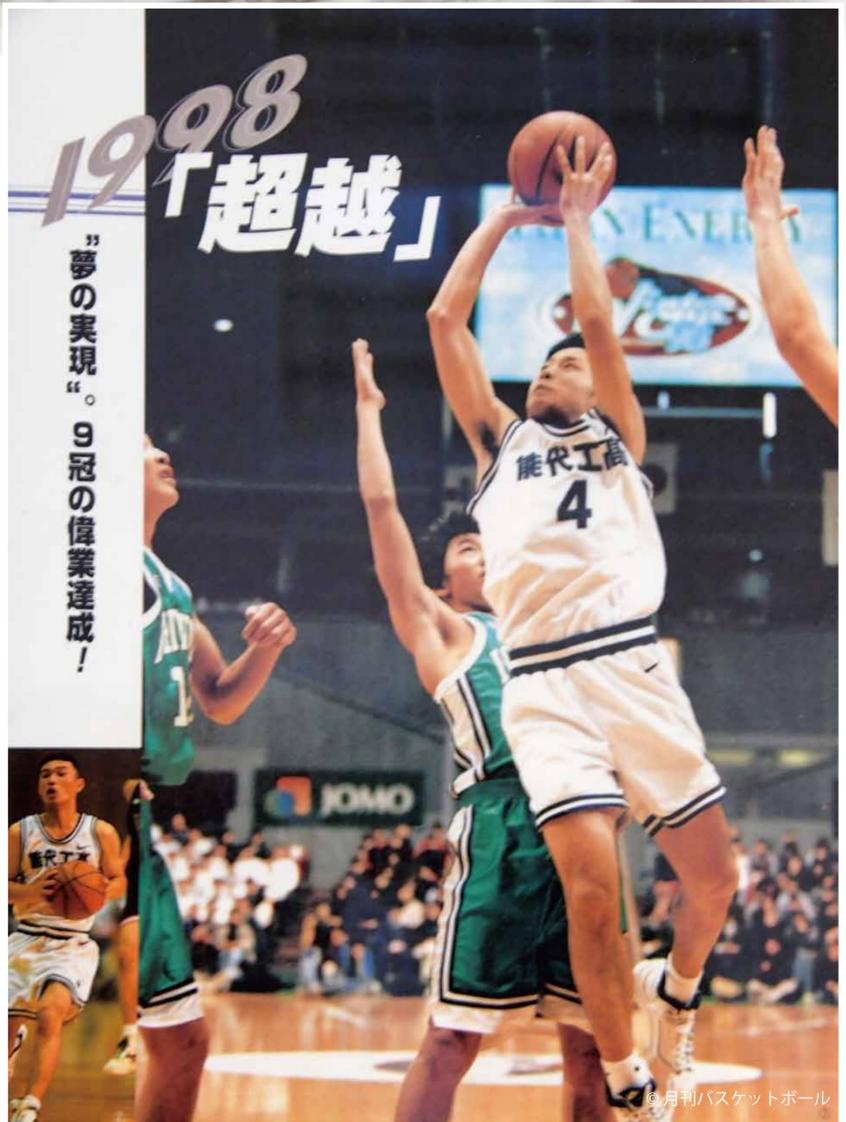
米代川流域で伐り出される秋田杉

木都能代を支えた、米代川流域で伐り出される秋田杉。昭和40年以前、杉は米代川を利用して運ばれていました。以降はトラックの運送に切り替わりましたが、往事を偲ぶ風物詩として筏まつりが行われていました。(昭和41年)



天空の不夜城

平成25年、1世紀の時を経て復活した能代七夕「天空の不夜城」。文献には江戸時代の天保年間に、名古屋城を模した城郭型灯籠を作ったことが始まりとあります。現代では全高17.6mの嘉六(かるく)・24.1mの愛季(ちかすえ)2基の大型灯籠が街を練り歩きます。(明治時代)



能代工業高校(現能代科学技術高校)バスケットボール部

能代工業高校(現能代科学技術高校)バスケットボール部は、平成8年から3年連続で高校3大タイトル(インターハイ・国体・高校選抜)を独占し、前人未だの9冠を達成しました。田臥勇太選手が在学していたこの3年間、市民は試合に熱中し、市内では優勝パレードも行われました。(平成10年)

山本地域

歴史の1コマ



藤琴豊作踊り

藤琴豊作踊りは、今から約400年前の慶長7年、秋田藩主佐竹侯が水戸から秋田へお国替えの際、主君の道中の退屈をお慰めする家臣の道中芸が源と伝えられ、県無形民俗文化財に指定されています。毎年、9月8日に行われている浅間神社例大祭で披露されています。当日は、町内を練り歩いた後、棒使い、獅子舞、駒踊り、奴踊りなどが披露されています。(平成28年)



素波里園地(猿ヶ瀬園地)

昭和45年、県営素波里多目的ダムの建設によって造られた素波里湖の誕生と共に整備された国民休養地です。ブナを主とする広葉樹と秋田杉に恵まれた自然公園があり、遠足やレクリエーションにも利用されています。また、キャンプ場・大型遊具・グラウンドゴルフ場などの遊べる施設もあるため、幅広い世代で楽しめる場として親しまれています。(令和2年)



白神山地世界遺産センター(藤里館)

平成5年に白神山地が世界自然遺産に登録されました。平成10年にオープンした白神山地世界遺産センター(藤里館)では、白神山地の自然に関する情報をはじめ、世界遺産条約の理念について紹介しています。(平成25年)

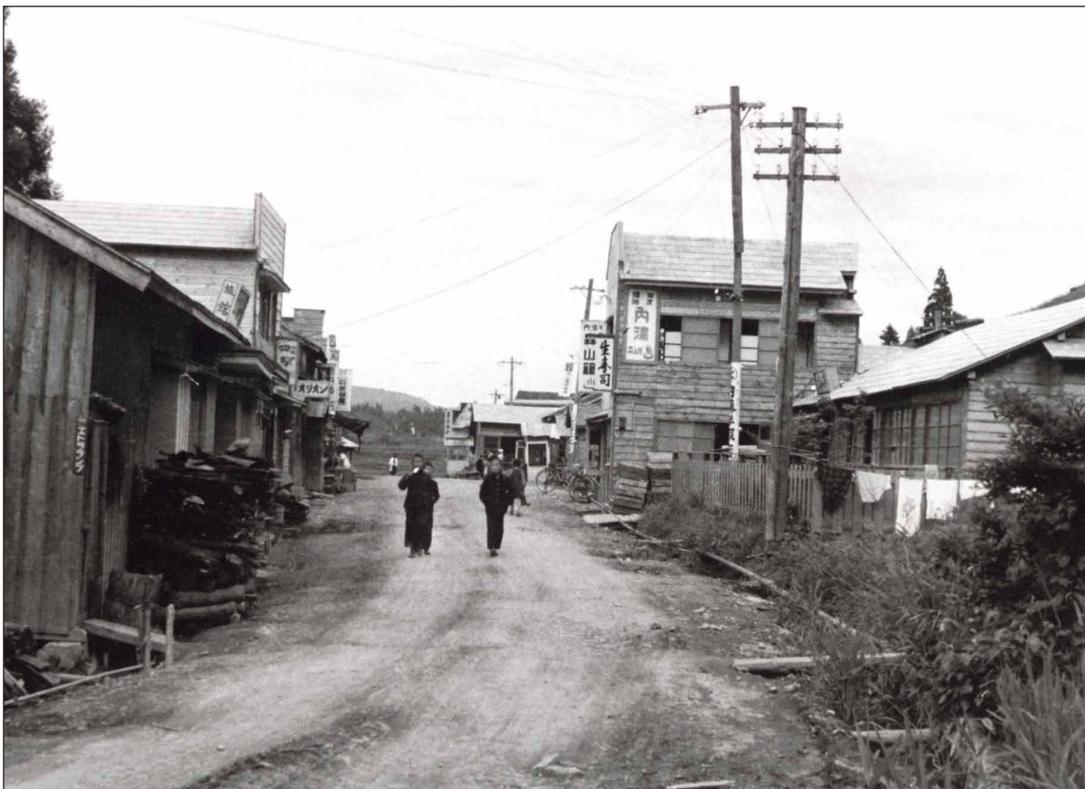
山本地域

歴史の1コマ



三浦隆司が悲願の世界チャンピオンへ

平成25年4月8日、両国国技館(東京)で行われたWBCスーパーフェザー級タイトルマッチで、王者ガマリエル・ディアス選手に挑戦し、9ラウンドKO勝ちを収め世界チャンピオンに輝きました。以降、4度の防衛を果たし、世界に「ボンバーレフト」の異名を轟かせました。(平成25年)



しょっぱい温泉・森岳温泉郷

昭和27年、石油採掘中のたんぼから湧き出した森岳温泉は、「秋田の奥座敷」と親しまれ、昭和40年代に隆盛を極めました。泉質はナトリウム・カルシウム塩化物泉で、とてもしょっぱい温泉として有名です。湯冷めがしにくく、お肌の潤いを長く保ってくれるため、美容面の効果が高いと言われています。(昭和30年)



食べるエメラルド・じゅんさい

山本地域で収穫される「じゅんさい」は日本有数の生産量を誇り、最盛期となった平成2年には、年間1,250トンにのぼりました。その背景には、昭和45年から始まった国の減反政策があります。町内に自生していたじゅんさいを転作作物として奨励したのが一大産地となるはじまりです。(平成2年)

山本地域

歴史の1コマ



発盛(椿)鉱山

旧八森村の発盛鉱業所の露天掘風景。明治21年から鉱山開発に着手し、明治40～45年に椿鉱山の最盛期を迎え、銀生産量は単独鉱山として日本一となったほどです。(昭和初期)



ハタハタ豊漁～こんな時期も～

旧峰浜村のハタハタ漁豊漁期の様子。昭和30年代から40年代には、男鹿市とともにハタハタ漁は豊漁となった時期でした。(昭和42年)



桃源郷 手這坂

江戸時代後期の旅行家「菅江真澄」の紀行に「1804年に当地を訪れ、桃源郷のようだ。」と記録されています。現存する茅葺屋根の民家は1軒のみで、移住者が補修を続けながら住んでいます。(平成18年)